

【オリコンサルグローバルが施工監理担当 パッケージ2工区が竣工
比カガヤン・デ・オロ川洪水リスク管理事業】

パッケージ 2工区が竣工

比カガヤン・デ・オロ
川洪水リスク管理事業

フィリピン・ミンダナオ島
のカガヤン・デ・オロ市でオ
リエンタルコンサルタンツグ
ローバルが施工監理を担当す



記念碑除幕式（写真中央：比公共事業
道路省のボノアン大臣）

施工監理〃オリコンサルグローバ
ル、施工〃東洋建設

る「フィリピン国カガヤン・
デ・オロ川洪水リスク管理事
業」パッケージ2工区の竣工
式が5月26日、同国公共事業
道路省のボノアン大臣らが出

席して開かれた。

同事業は、カガヤン・デ・オ
ロ川河口から10^{km}の区間を対
象に、洪水対策用の連続堤防
や併設道路、親水遊歩道など
を建設する。ODA（政府開
発援助）有償資金協力で借款
額は115億7600万円。

2023年末の工事完了を予
定している。このうち、河川
堤防2・3^{km}を建設するパッ
ッケージ2工区では、東洋建設
が静的サンドコンパクション
工法を採用して施工した。

同川下流に位置するカガヤ
ン・デ・オロ市は、ミンダナ
オ島第2の都市で北部ミンダ
ナオ地域の中心都市。フィリ
ピンメトロ圏の指定も近く予
定されるなど、今後さらなる
経済発展が見込まれている。
一方でこれまで十分な洪水対
策がとられておらず、11年12

月に発生した熱帯暴風雨セン
ドンでは壊滅的な被害を受け
るなど、同川流域での洪水対
策計画の見直しと河川改修事
業の実施は同国政府での喫緊
の課題となっていた。